

令和 7 年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

中長期計画（実施計画）について

1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
1-1 社会保障制度の 流れと地域の特 性、ニーズに対応 したシステムの整 備・推進	①情報の収集・調査分析	a.国・県・市町村・日本医師会等情報の収集と 調査・分析	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.収集した情報について医師会として共有し、対 応（方針）について検討 2.医師会員に有益な各種情報の積極的な配信 【重点事項】 ①診療報酬改定の情報収集 （令和 8 年度～） ②第 8 次島根県保健医療計画 （令和 6 年度～）（5 疾病・6 事業） ③第 3 次健康増進計画（健康長寿しまね） （令和 6 年度～） ④第 9 期益田市介護保険事業計画（えっとま めなプラン）（令和 6 年度～） ⑤新たな地域医療構想の情報収集 （令和 7 年～） 【統括部】 1.診療報酬の改定による統括部影響への対応 ・7-1-②-a-1 と同じ	1.診療報酬改定（R6-7）および次期改定の 情報収集 2.介護報酬改定（R6-8） 3.第 8 次医療計画（R6-11） 4.第 9 期介護保険事業計画・えっとまめなプラン （R6-8） 5.第 4 期医療費適正化計画（案） （R7～R11） 6.「 新たな地域医療構想 」等への対応	
	②少子高齢化社会に対 応した医師会独自の地 域医療・介護の体制づ くり ・「地域包括ケアシステム」 の推進 ・地域完結型社会の構築 ・地域医療、在宅医療へ の新たな対応	a.地域のニーズの把握	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.社会構造の変化に伴う地域のニーズについての 圏域内諸会議を通じての把握・共有 2.益田圏域における医療・介護の方向性につい て研究・検討 【統括部】 1.統括部の各事業所からの現場意見の集約及 びニーズの把握 ・毎月の統括部会議、統括部ミーティング、包 括支援センター朝礼への参加、居宅との定 例会議への参加で意見を集約 2.地域の関連事業所、地域住民のニーズを収集 → 医療施設・介護施設の訪問 3.要介護認定者・生活困窮者が増加する半 面、居宅介護支援者、サービス提供事業所の 減少の中、在宅へ施設への流れを検討 ・1-1-②-dで行政と協議し圏域内での流れを 構築	1.生産年齢人口の減少に対するマンパワー確保 2.人口減少地域における医療機能の維持・確保 や医師をはじめとした働き方改革への対応 3.超高齢化・人口減少による入院・外来医療ニ ーズの変化 4.医療介護複合ニーズ・看取りニーズの増加 5.緩和ケア体制の構築 6.在宅療養後方支援病院の継続 7.訪問診療体制の検討・構築 8.へき地巡回診療継続、診療支援体制の検討 9.益田圏域での医療・介護の在り方の検討	
		b.先進事例等の調査と検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.先進事例等を調査し、地域の医療介護に 資する新たな取組を検討 2.遠隔診療の研究・検討		
		c.会員との連携	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会員と連携し、医師会資源を有効に活用した 医療・介護の支援体制の構築を推進		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						2.開業医数を維持するための方策検討と益田圏域の診療体制の研究 【統括部】 1.会員訪問の継続実施及び意見の連携活用 ・在宅医への定期訪問による在宅医の現状を調査 2.医療連携推進コーディネーター配置事業を活用し会員が連携する事業を企画 ・フィジカルアセスメント研修会を開催予定 3.会員医療機関で必要とされる専門職の相談や支援を検討（管理栄養士・各療法士・社会福祉士等）→人員不足のため直接は不可 ・医療連携推進コーディネーター配置事業の出席研修会の利用促進		
		d.行政等との連携	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会業務の明確化を図り、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応した連携実施 【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター配置事業において、在宅医療介護連携推進事業等、保健所、圏域市町との連携による効果的な推進 ・毎月の益田市コア会議への参加、益田保健所との定例会の開催 2.地域の医療介護資源である各事業所から発せられる地域課題を提起 ・上記会議や益田市高齢者福祉課との会議で地域課題を提案		
		e.医師会独自の「医療・介護推進プロジェクト」の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.「地域包括ケアシステム」への対応（役割）と必要な体制についての立案 2.地域ケア会議等への参加を通じた、医師会施設や活動のPR及び利用促進の画策 【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター配置事業、在宅医療介護連携推進事業等を、保健所、圏域市町と連携した、効果的な推進 ・1-1-②-d-1と同じ 2.統括部各事業所からの現場意見の集約 ・1-1-②-a-1と同じ		
		f.地域内完結率の向上	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会内の連携強化（統括部内の連携体制の強化、病床カンファレンスの充実、退院支援体制の強化） 2.かかりつけ医との連携強化（在宅療養後方支援病院、機能強化型在宅療養支援診療		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						所の検討） 3.近隣病院・介護事業所との連携強化（連携会議の開催、定期施設訪問の実施、研修会の開催） 4.地域住民理解の推進（イベント等でのPR活動の検討） 【統括部】 1.透析・緩和ケア対象患者の患者などの積極的な受け入れ ・益田赤十字病院・浜田医療センターへの定期訪問、圏域外病院への訪問 2.益田圏域の住民で、他圏域で治療中の患者の受入れ方法を促進 →リハビリ患者を中心に受入れを促進するために、圏域外のリハビリ紹介病院への訪問 3.近隣の慢性期病院にて療養中の圏域内の方の受入れ促進 ・慢性期病床の減床に伴う受け入れ態勢の再構築 4.慢性期病棟での患者の流れの滞りを防ぐために、介護施設との利用者の紹介体制を確立 5.介護施設との連携強化を目的に意見交換、情報共有の機会を検討 ・介護施設への定期訪問		
		g.在宅医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.在宅療養後方支援病院の活用推進 2.地域密着型サービスや在宅入居への業務進出の検討 3.医療度の高い利用者の在宅支援 4.訪問診療体制の検討 【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の登録者の継続 ・協力対象施設入所者の入院の促進方法の検討（登録者目標数 55 名） 2.在宅医との意見交換会の実施を計画 ・1-1-②-c-1 と同じ 3.統括部の各事業所から現場意見を集約 ・1-1-②-a-1 と同じ 4.専門職による相談や支援の提案（管理栄養士・各療法士・社会福祉士等） ・1-1-②-c-3 と同じ		
		h.へき地医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.行政の行う施策に積極的に参画し、へき地医療の体制を提言（公共交通機関の活用、中山間地域住民の集住、巡回型医療体制の確保、住宅地域の改変等の施策） 【地域医療事業部】 1.事業部（へき地医療を含む）の医師会事業		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	③厚生労働省の進めるデータヘルス改革への対応					部内での役割の明確化 2.益田市美都・匹見道川・澄川国保診療所の指定管理者としての運営方法や体制の整備		
		a.医療・介護の情報利活用の推進（医療と介護の地域連携システムの導入と運用）	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.情報の共有化システム検討 2.M C S（介護等の連携）、まめネット（医療機関同士の連携）の利用促進	1.電子カルテ標準化への対応 2.まめネット等を活用した情報連携の推進	
		b.自身のデータを日常生活につなげる PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.マイナンバーカードを利用したシステム類の導入支援 2.オンライン資格確認システム、電子処方箋等の導入、医師資格証の普及	1.スマートヘルス事業への協力 2.PHR と医療機関の連携への情報収集	
		c.医療現場の人手不足や待遇悪化、長時間労働などが大きな問題の解決のための医療介護DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療センター内での勤怠管理等の IT 化による管理業務の負担軽減策実施と人材の効果的再配置の検討	1.業務効率向上に向けた医療 DX の推進継続	【くにさき苑】 1.DX の推進 ・介護記録電子化 ・業務負担軽減のための DX 化 【訪問看護】 1.ケアバレットを活用した訪問記録 2.オンライン資格証確認への対応
		d.医師会及び関連施設への ICT の普及、リスクへの対応や周知	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会員へのサイバーセキュリティ支援及び周知	1.院内のサイバーセキュリティの検証および対応	
2 医療機能再編への対応			計画年度					
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	05	06	07			
2-1 地 域 医 療 構 想 応じた医療機能 再編に必要な対 策の検討と推進	①「地域医療構想」への 対応	a.「地域医療構想」の検証と対応検討 ・情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.「新たな地域医療構想」について、情報を収集し、対応について検討	1.新たな地域医療構想を見据えた検証・分析を進め病院建替え構想を進展	
		b.病床機能の検証 ・必要な病床機能の検討 ・地域外流出実態の調査	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.病棟建て替えロードマップの策定において調査・分析を継続 【統括部】 1.圏域内医療実務者会議で圏域内完結率アップを検討 ・圏域内医療実務者会議にて情報共有 2.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握 3.当該医療機関との情報交換のシステム構築 ・日赤からの転院相談一覧の送付を継続 4.慢性期病床待機者の把握と当該医療機関との連携強化 ・1-1-②-f-3・4と同じ 5.益田赤十字病院への定期訪問の実施 6.益田日赤との具体的な内容での協議 ・医師会病院・益田赤十字病院の地域連携担	1.病棟再編（慢性期病棟集約）の Patient Client Flow Management（以下 PCFM）への影響の検証 2.圏域内外の患者動向の調査・分析の継続 3.圏域内連携の強化 4.緩和ケア病床設置	

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						当事者意見交換会の年2回実施		
		c.外来医療の機能の明確化・連携（医療法）	⇒	⇒	⇒		1.紹介重点医療機関としての役割の強化 2.大学医局等との連携	
		d.病床機能ごとの運営方針の検討と策定	⇒	⇒	⇒		※7-2.3.4.5にて	
	②他医療機関との連携と役割分担の検討	a.医療センター内での各病棟・施設との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムーズな流れの検討を行うとともに、1症例ごとに丁寧に相談・調整 ・1-1-②-f-3・4と同じ	1.病床活用カンファレンス等によるPCFMの実践継続	受入れ対象者の適正化のための取り組み
		b.圏域内の他医療機関との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療連携実務者会議の定期的継続実施 ・年3回実施 2.益田赤十字病院・地域連携担当者意見交換会で協議 ・年2回実施 3.在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会を開催計画 ・年2回実施（誤嚥性肺炎他）	1.他病院への訪問活動等による連携強化 2.益田赤十字病院との地域連携パス（大腿骨近位部骨折、心不全）の運用拡大	1.益田赤十字病院→医師会病院→くにさき苑の流れの構築 2.松ヶ丘病院との連携 3.浜田医療センターからの受入れ継続
2-2 地域医療構想に応じた在宅医療機能の対応策の検討と推進	①在宅医療への支援・検討	a.調査に基づく在宅医療支援（必要性）の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 益田地域医療・介護ビジョン委員会・プロジェクトチーム等における情報収集・検討 1.在宅医療への支援体制の検討 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の検討 3.新しい訪問サービス体制について検討 【統括部】 1.在宅療養後方支援病院としての機能を維持 ・1-1-②-g-1と同じ 2.在宅医との意見交換会により支援策を検討 ・1-1-②-c-1と同じ 3.退院後訪問や訪問看護の活用	1.在宅療養支援病院としての機能維持	
	②在宅医療機能の運営方針の検討と策定	a.在宅医療機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.地域医療事業部（へき地医療を含む）の医師会事業部内での役割の明確化 ・1-②-gと同じ 【統括部】 1.在宅医との意見交換会で在宅代診医システムの意向を確認し検討 ・1-1-②-c-1と同じ 2.会員訪問実施 病院事業部と協働して実施	1.在宅医療機能の在り方について検討	

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	③在宅復帰できない患者・利用者への対応	a.療養病棟の形態変更の検討	⇒	⇒	⇒		1.病棟再編による慢性期病棟集約の影響を検証し療養病棟の運営方法の最適化を検討	
		b.次工程の明確化（PCFMの確立、患者・利用者をつなぐ・受け取る）	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会、統括ミーティングにて困難事例を協議 2.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムーズな流れの検討 →在宅困難者の実情と退院先の把握、圏域内施設への誘導方法の検討 3.次工程に位置する介護施設のニーズ把握のための相互交流・情報共有機会を検討 ・1-1-②-f-5と同じ	1.PCFMの強化（医療介護連携の強化） 2.適切な入退院のある療養病棟の実現	
3 医療・保健・福祉サービスの提供			計画年度					
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07			
3-1 益田圏域の医療ニーズへの対応	①5疾病への対応	a.がん：緩和ケアの提供体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.緩和ケア病床稼働開始 2.緩和ケアチームによる診療体制構築・実践	
		b.脳卒中：高齢者特有の脳疾患への対応	⇒	⇒	⇒		1.脳卒中治療後の回復期リハ受入れ強化 2.島根大学高度脳卒中センターとの連携強化・ホットラインの活用	
		c.急性心筋梗塞：高齢者特有の循環器疾患への対応	⇒	⇒	⇒		1.慢性心不全への対応強化（圏域での連携）	
		d.糖尿病：糖尿病患者を支援できる体制の確立	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.糖尿病支援ネットワーク事業の推進 2.行政と今後の糖尿病支援体制について協議を継続	1.糖尿病支援ネットワーク事業の推進 2.糖尿病療養指導士の資格取得・継続支援を実施 3.のぞみ会活動の活性化 4.島根大学腎臓内科との連携強化	
		e.精神疾患：認知症患者の療養環境の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会として認知症へ対応できる体制について検討（認知症サポート医の普及）	1.松ヶ丘病院等との連携強化 2.認知症サポート委員会活動の推進	
	②6事業への対応	a.救急医療	⇒	⇒	⇒		1.益田赤十字病院との救急医療意見交換会により課題を共有 2.島根大学医学部附属病院各種ホットラインの活用	
		b.災害医療 大規模事故・災害援助体制の確立と支援体制の整備	⇒	⇒	⇒	(6-①と同じ)	1.圏域の災害医療対策会議等により大規模災害時の対応等協議 2.災害支援ナース養成研修への支援	
		c.へき地医療 へき地医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	(1-②-hと同じ)	1.地域医療拠点病院として巡回診療事業の堅持（へき地出張所の適正な運営） 2.遠隔診療等のICT技術活用を検討	
		d.周産期医療	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市医師会としての周産期医療への協力	1.当院の婦人科外来を維持し、周産期を担う益田赤十字病院との機能分担を継続	
		e.小児医療 圏域での小児医療の提供への協力	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.小児科専門医療機関減少への対応 2.医師不足の中での学校検診等のあり方の検討と行政への提言 3.ワクチン接種等への協力		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		f.新興感染症拡大時の医療 感染症発生時の圏域での体制作り	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会としての対応 ①診療・発熱医療機関としての登録 ②ワクチン接種事業への参加 ③新興感染症の周知活動への協力 ④圏域カンファレンスや訓練の実施	1.感染対策向上加算 1 の算定を堅持し、益田 赤十字病院と連携し圏域の医療機関・介護 事業所等を含めた感染管理の充実を推進	
	③医師会独自事業に ついて	a.休日応急診療所の運営について	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市と協働して休日応急診療所の運営方 法について検討を継続		
		b.肺炎等増加する疾病への対応の確立	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.増加する肺炎等へのより適切な対応について 検討 2.誤嚥性肺炎等、歯科医師会、歯科衛生士 会、言語聴覚士等での協働 3.摂食嚥下障害看護認定看護師の配置・育成 を検討 4.呼吸器内科との連携		
3-2 益田圏域の保健 等ニーズへの対 応	①圏域の保健医療に ついて	a.予防の推進活動（予防の重要性の周知）	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.健康予防の情報提供（医師会まつりの再 開） 2.普及啓発活動の実施	1.健診事業の広報活動の強化	
		b.圏域での検診・人間ドック実施数の拡大	⇒	⇒	⇒		1.受検枠増加を図るため健診実施体制を強化	
		c.ワクチン接種等予防事業の推進				【事業本部】 1.益田市の行う各種ワクチン接種事業への参加	1.インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症予 防接種を実施予定（R6.11～12）	
	②保健予防センターに ついて	a.保健予防センターの活用	⇒	⇒	⇒		1.人間ドック受入枠の拡大（検査担当医等のス タッフ確保） 2.多様な健診メニューの充実（えらべる健診、健 診ツーリズム等） 3.尿マイクロ RNA 検査（マイシグナル）など新た な検査の普及啓発 4.企業検診増加を目指した営業活動強化	
		③特定健診・保健指導の 推進	a.圏域での特定健診の把握し、保健指導につな げる	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市と協働して特定保健指導のニーズを調 査し、必要な体制を整備	
	b.実施医療機関への支援		⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.特定健診のデータ処理の実施医療機関の負 担軽減継続		
	3-3 益田圏域の介護 等ニーズへの対 応	①介護ニーズの検証と持 続可能な取り組み	a.入所系サービス	⇒	⇒	⇒	将来を見据えたサービス体制の検討	1.介護医療院（在宅機能）の有効活用
b.通所系サービス			⇒	⇒	⇒	将来を見据えたサービス体制の検討		まるみエールの継続および発展
c.訪問系サービス			⇒	⇒	⇒	将来を見据えたサービス体制の検討	1.訪問リハビリのニーズ掘り起こし（回復期病棟 からの流れを確立）	まるみエールの継続および発展
d.居宅系サービス			⇒	⇒	⇒	将来を見据えたサービス体制の検討		まるみエールの継続および発展
4 利用者サービスの向上と創出			計画年度					
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	05	06	07			

令和 7 年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
4-1 利用者サービスの向上	① 安全な医療環境の整備	a.安全管理者の養成	⇒	⇒	⇒		1.医療安全管理者養成研修の受講推進 2.各部署リスクマネージャーの医療安全リテラシー向上	老健リスクマネージャーの養成
		b.医療事故発生時の対応体制の確立	⇒	⇒	⇒		1.事故調査委員会等の対応体制・規程整備	
		c.医療機器の安全の確保	⇒	⇒	⇒		1.医療機器安全管理責任者を中心とした操作 教育・保守管理の徹底	
		d.院内感染対策の充実に向けた取り組み	⇒	⇒	⇒		1.感染対策チームによるラウンド等による日常管 理の徹底 2.感染対策室を中心とした管理体制の強化	
		e.院内感染発生時の対応の強化	⇒	⇒	⇒		1.クラスター発生時の対応の検証・適正化 2.保健所との連携強化 3.感染対策向上加算 1 の継続	
		f.安全な薬剤管理の充実	⇒	⇒	⇒		1.薬剤安全管理責任者を中心とした薬剤管理 の徹底 2.薬剤師病棟配置を推進 3.薬剤管理指導の充実 4.地域フォーミュラの検討	
		g.高齢者の増加に対応できる看護体制や療養 環境の整備充実	⇒	⇒	⇒		1.医療介護 DX による省力化の実施 2.見守りツール等導入の検討	
	②サービスの質向上	a.診療の質を上げるための部門の検討	⇒	⇒	⇒		1.リハビリテーション、緩和ケア等のセンター化検討 2.各種チーム活動（多職種連携）の充実	
		b.診療の質を上げるための「働き方改革」の推進	⇒	⇒	⇒		1.医療・介護 DX の推進 2.職員個々の生産性向上のための教育・支援 体制の構築	1.DX の推進 ・介護記録電子化 ・業務負担軽減のための DX 化 2.働きやすい職場づくりのための取り組み

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		c.既存部署毎に診療・看護・介護の質を上げるための対応策の実施	⇒	⇒	⇒		【共通】 1.短期ビジョンの確実な実行 （課題・問題点の明確化及び共有、改善） 2.TQM 活動等の質改善の取り組みの継続 【診療部】 1.人材確保、人材育成、スキルアップ支援 ・職能団体等における育成教育研修等の活用 ・次世代の育成 2.タスクシフト・シェアの推進・実行 3.他職種・多職種協働の実践 ①薬剤科 1)次世代育成、体制強化の推進 2)病棟薬剤師配置の推進 3)病院薬剤師会認定薬剤師の育成 4)がん、緩和、感染、栄養、腎臓病、糖尿病、精神、老年薬学等、各種専門性を有した薬剤師の育成 5) バイオ後続品導入初期加算指導料算定への連携 6)地域フォーミュラの推進 7) 薬剤管理指導の充実 ②放射線技術科 1)次世代育成、管理職の育成 2)計画的な機器整備と補助金の確保 3)少人数体制での検査体制維持 4)会員への WEB 検査予約・画像参照サービス導入 ③リハビリテーション科 1)看護部との協働として、回復リハ病棟での時差勤務を継続実施 2)病院の強みとなるリハ機能の周知 3)365 日リハ提供体制の維持継続 4)地域ケア個別会議や介護予防事業等への連携体制の確立 5)管理栄養士、セラピスト、歯科衛生士の協働を実践 6) RE-Gait 等の新たなリハビリの定着・強化 ④臨床検査科 1)生理検査部門（特にエコー検査）の強化 2)次世代育成、管理職育成 3)各種精度管理による検証実施 ⑤臨床工学科 1)透析患者増加に対応できる透析室運営体制の確立・看護部との協働 2)機器管理体制の強化 ⑥栄養科 1)栄養管理の充実・質向上を図る	【くにさき苑】 1.ケアの質の向上 ・介護福祉士の養成 ・ケアの質向上に資する教育の実践 2.エグゼクティブコーチング・プロジェクトへの取り組み 3.業務の効率化 ・会議・カンファレンスの整理 ・役割・業務分担の見直し 【居宅介護支援事業所】 1.主任ケアマネの更新 2.研修会への参加、伝達講習

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						・部門内研修の実施（月1回） ・症例検討会実施（NST 回診症例） ・医療チーム活動の情報共有 2)看護部との協働を検討 ・栄養管理委員会にて必要時 3)管理栄養士の病棟配置の検討と業務の調査 ・栄養管理、栄養指導に対応できる管理栄養士の育成 4)管理栄養士、セラピスト、歯科衛生士の協働を実施 ・嚥下調整食についての情報共有会実施 ⑦医療介護相談室 1)患者・利用者の流れ（PCFM）の把握と更なる構築 2)退院調整および相談業務に対する個々人のスキルアップ 【看護部】 ※副部長複数配置による体制強化等、新たな看護部体制のもと、ガバナンスの強化と業務の質向上・効率化、教育体制の充実 1.看護・介護職員の確保と定着 2.教育体制の見直し 3.人材育成、スキルアップの支援 4.次世代管理職候補の選定と育成 5.師長・主任の認定看護管理者教育課程への計画的な参加（毎年度、2名程度参加） 6.管理職へ理念の浸透と経営意識形成と醸成 7.認定・特定・医療安全等への人選と育成支援 8.看護部の働き方改革の推進 9.教育の支援体制の確立 10.新夜勤制度の検証と改善の推進 11.患者・利用者の流れ、PCFM 確立のための各部署における検討・実践 12. PCFM の実践能力を身に着けるため師長級への定期的な地域連携室経験を計画 ①外来 1)各種検査体制の検討（内視鏡検査技師の育成・協働） 2)特殊外来の活性化 3)病棟応援体制の検討 4)手術室との協働の推進 ②手術室 1) 手術体制の維持 2) 外来と一体的な運営体制の確立 3) 他部署への支援		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
							③保健予防センター 1)保健予防センターの機能促進 2)健診枠の拡充 ・人間ドック受入人数の増加 ・企業健診等の営業活動強化 ・特定保健指導実施（管理栄養士協働体制の構築） ・多様な検診メニューの提供（尿がん検査、健診ツーリズム、えらべる健診などの拡充） ・健診ツーリズムなど都会在住者の利用促進 ・職員の健康保持増進の支援 ④医療安全対策室 1)安全な医療・介護の提供 ・リスクマネジメントにおける職員教育の実施 ・多職種協働、患者参加の推進 ・職場環境の整備への提言 ・安全な医療機器の取り扱い（ME との協働） ・部門間の協力、情報共有を推進 ・改善活動の推進 ・転倒・転落防止対策の検討 ・医療事故への対応 ⑤感染対策室 1)感染対策環境の充実 2)ICT・AST の活動強化 ※病棟に関しては 7-2・3・4 にて 【事務部】 1.人材育成、スキルアップの支援 ・スキルアップのための資格取得への支援 ・医療・介護 DX 対応のためのリテラシー強化 2.事務職員として理念の浸透と経営意識の醸成 3.短期ビジョン実現のために「自ら考え行動する」 4.「変化・変革」に対応するイノベーターシップ（マネジメント＋リーダーシップ）の醸成 5.事務職の教育体系の整備	

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	③利用しやすい施設づくり（広報）	a.広報活動体制の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.開業希望医師への発信強化 2.職員募集の発信強化 3.より効果的な広報活動の検討	1.病院内での広報管理体制の構築	
		b.情報誌（双葉他）の魅力化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.魅力ある誌面作りについて検討 【統括部】 1.連携室だよりの発行と充実 ・病院だよりに毎回掲載		
		c.H P のリニューアルの検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.見やすく魅力的なホームページの刷新を推進 2.公益社団法人としての情報掲載について検討 【統括部】 1.在宅医療介護連携推進事業内容を適宜更新 2.統括部の役割・体制について掲載内容の充実	1.リニューアルしたホームページ等を基盤としたタイムリーな情報発信の実施	
		d.インターネット（HP・SNS）の活用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.インターネットを活用した病院の周知対策として、新たな発信方法を展開		
		e.関係機関や地域への広報の実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.多くの媒体を利用した広報対策についての検討・実施 【統括部】 1.「わたしの街の医療・介護情報」等について新しい情報媒体としての見直しを益田市と協議 →令和 7 年度は益田市の指示で中止		
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進			計画年度					
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	05	06	07			
5-1 会員が利用しやすい共同利用施設の運営	①会員が利用しやすい共同利用施設の運営体制	a.会員医師と職員との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用	1.会員と常勤医師の意見交換の機会の検討 2 会員医療機関訪問活動の再開検討（改善点・要望を聴取） 3.会員からの入院紹介時の患者搬送の再開検討	
		b.開放型病棟、手術室の利用促進	⇒	⇒	⇒		1.地域医療支援病院、共同利用施設として利用を促進 2.会員の共同指導実施を推進	
		c.共同利用検査機能の充実（臨床検査センター以外の検査）	⇒	⇒	⇒		1.地域医療支援病院、共同利用施設として利用を促進	
	②地域医療支援病院としての機能の充実	a.紹介患者に対する医療の提供 紹介率の向上対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用	1.会員との連携の更なる強化 2.ベッドコントロールを強化し断らない体制の構築 3.地域医療介護連携統括部と病棟との連携強化 4.退院調整看護師による退院支援の充実 5.入院時対応強化と退院調整への流れの確立 6.紹介患者の搬送業務再開	

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		b.救急の維持対策	⇒	⇒	⇒		1.益田赤十字病院と実務者レベルの救急意見交換会を定期開催し課題を相互共有	
		c.共同利用の促進対策	⇒	⇒	⇒		1.医療機器等の共同利用の推進 2.ニーズ・必要性・経営状況等、多角的に検討し最新医療機器・備品の整備 3.医療材料等の共同購入の検討	
		d.地域の医療従事者に対する研修の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター事業在宅医療介護連携推進事業を活用した研修会の開催 ・フィジカルアセスメント研修会を開催予定 →10回開催予定 2.在宅医療・介護連携推進のための、多職種研修会の企画・開催 →2回開催予定	1.会員医療機関、介護施設他の従事者に対する公開研修の企画・開催 2.医師会・薬剤師会等との共同の研修会開催 3.病院・くにさき苑を研修受入機関とする研修生の積極的な受け入れ 4.島根大学附属病院スキルアップセンター狩野先生との協力によるシミュレーション研修の実施	
		e.かかりつけ医の支援対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅療養後方支援病院としての機能の維持 ・1-1-②-g-1と同じ 2.在宅医との意見交換会で支援策を検討 ・1-1-②-c-1と同じ 3.退院後訪問や訪問看護の活用 4.会員医療機関で必要とされる専門職の相談や支援を検討（管理栄養士・各療法士・社会福祉士等 ・1-1-②-c-3と同じ	1.在宅療養後方支援病院として在宅診療の支援を実施 2.島根大学医学部附属病院の各種ホットラインとの連携強化 3.紹介の断り事例の検証	
		f.医師少数地区等を支援対策	⇒	⇒	⇒	【地域医療事業部】 1.医師の意見交換会で検討 ・美都診療所所長、匹見道川・澄川診療所長からの定期的な意見聴取	1.地域医療拠点病院として巡回診療7か所への適正実施	
	③臨床検査センターの安定した運用	a.臨床検査センターの運用データの収集	⇒	⇒	⇒	1.会計分離の研究・検討	1.開設以降の各種データを収集・蓄積	
		b.臨床検査センターの運用について会員意見聴取	⇒	⇒	⇒		1.医師会員訪問に同行し、意見を聴取	
		c.臨床検査センターの運用方法の検討	⇒	⇒	⇒		1.毎月の検査センター運営委員会にて、実績を確認。課題検討等を適宜実施 2.保健予防センター（企業検診等）との協働による検査件数の確保 3.益田市スマートヘルスケア事業への協力	
5-2 医師会としての 会員支援の検討	①開業・廃業・継承時の支援	a.支援方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.開業・承継・廃業サポートプログラムの活用と充実		
	②会員医療事故への対応	a.医療事故支援体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療事故研修会等への参加を促進		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	③診療所経営に関する支援	a.診療報酬等の算定支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.研修会等の実施 2.情報発信力の強化		
	④会員医師の生涯教育の推進と技術の向上	a.医療技術の生涯教育への支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学術講演会及び病院主催の技術研修会の開催等の実施		
6 地域社会への貢献			計画年度					
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）		
6-1 大規模事故・災害時の援助体制の整備充実	①大規模事故・災害援助体制の確立と支援体制の整備	a.災害時の益田市医師会の役割の確定・益田地域災害医療対策会議への参加	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き災害時の支援体制について協議・検討	1.益田地域災害医療対策を通じた圏域災害対策の検討・共有 2.自院の防災管理の強化	
		b.大規模事故・災害時の連絡体制の確立と通信方法の確保	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.行政等関係機関を含めての連絡網等の整備と周知	1.職員向けポータルアプリ（yappli/ヤプリ）による一斉連絡・安否確認ツール活用	
		c.大規模事故・災害対応に関する規程類の作成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.対応に当たって必要な規程についての検討・整備 2.BCP（危機管理における事業継続計画）の更新	1.BCPの見直し	
		d.行政等が行う災害訓練への積極的な参加と、医師会独自の訓練の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市医師会救護班の役割分担	1.石見空港事故訓練等への参加 2.他病院等の事例を参考に防災訓練の見直し	
6-2 労働者の健康管理への支援	①認定産業医のスキルアップ	a.認定産業医のための研修会の開催	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.産業医部会事業としての研修会等を開催		
	②地域産業保健センターと協働した健康管理	a.地域産業保健センターとの連携・協働	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.従業員 50 人未満の事業所の健康管理を中心に実施 2.将来的産業医不足への対応を検討		
6-3 園児・学童の健康管理への支援	①健康管理支援体制の強化	a.教育委員会及び学校等との連携強化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学校医部会・園医部会の活動を通じての連携の強化 2.学校医・園医の担当数の適正化と将来的医師不足への対応検討 3.益田市要保護児童対策地域協議会の普及活動への協力		
		b.養護教員等の医療知識向上の協力	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学校医部会・園医部会の活動を通じて協力		
6-4 地域への啓発活動	①医師会主催のイベント・講演会等の見直しと活性化	a.医師会まつりの活性化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会まつりの再開実施準備の確実な推進		
		b.その他イベント・講演会等について、マンネリ化の回避	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.イベント・講演会等の検証及び先進事例調査等に基づく見直しの実施		
6-5 地域社会貢献の実施	①可能な地域社会貢献の検討と促進	a. 現体制で何ができるのか検討と社会貢献の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市民が行っている社会貢献への参加		
	②会員・職員の地域活動に対する支援	a.地域社会活動への会員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.情報提供等を行い参加を促進		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						2.市民に根ざした医師会活動の検討		
		b.地域社会活動への職員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会議等を通じた啓発の実施及び参加の促進		
6-6 地域社会活動の 支援促進	①地域社会活動に企業 ボランティアとしての支援 方法の検討	a.地域社会活動に継続的に支援できる方法の 検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.地域社会活動へ医師会としての支援の方法に ついて検討		
		b.地域イベントに医師会救護班等の人的支援の 促進の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き医師会の人的資源を活用した支援 を推進 2.引き続き医療救護班への派遣、地域行事・学 校行事への派遣等を実施	1.イベント救護班の派遣実施	
7 安定した経営基盤の確保			計画年度					
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）		
7-1 医師会組織の安 定した経営基盤 の確保	①中長期計画の着実な 実行のための組織・体 制の構築	a.効率的でわかりやすい組織の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.中長期計画の着実な実行のための組織・体制 の強化 2.中長期計画第5期実施計画（R08年度ｽﾀ ｰﾄ）の検討・協議		
		b.ガバナンス体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.公益法人運営の重点事項として、しっかりと した統治が行える体制の構築について不断の努 力を継続		
		c.規則・規程等の見直しとコンプライアンスの徹底	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.規則、規程類を整合性・不備等について検証 し、必要な見直しを実施 2.公益法人運営の重点事項としてコンプライア ンスの徹底について不断の努力を継続		
	②コスト意識と法律に基づ く適正な会計の実施	a.コスト意識と、経営への参画意識の醸成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.研修及び勉強会等の実施により、経営の安定 及び発展に繋がるとの意識を持った組織の構 築 2.経営改善のためあらゆる方策を検討・実施 3.職員への経営情報の適時適切な開示方法の 検討 【統括部】 1.診療報酬の改定情報に基づき、新たな加算の ための算定要件体制構築 ・協力対象施設入所者入院加算の算定 →協力対象施設との新たな連携体制の検討 ・協力医療機関として契約を結んだ介護施設を 把握し、研修会等での便宜を図っている。 →入院患者の確保、退院先の確保		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		b.コスト管理を重視したシステムの導入 ・原価計算の導入 ・業務効率化のための本部システムの検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.部門別収支状況分析の継続的实施及び経営改善に資する提言の積極的実施 2.キャッシュフロー分析の定期的な実施 3.将来的な管理会計、原価計算管理システムの実現を目指した人材育成の実施		
		c.経理関係の法令改正への対応	⇒			【事業本部】 1.電子帳簿保存制度やインボイス制度の安定した運用の継続 2.担当公認会計士、担当税理士と連携して会計事務のスキル向上を図るとともに、自己研鑽を継続実施		
7-2 病院 一般病棟の安定した運営	①効率的な一般病棟の運用	a.一般病棟の在り方の明確化と運営方針	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れの支援 ・毎朝病床稼働コントロール会議に参加し日々の病床稼働状況を協議 2.周辺施設、特に日赤との連携を推進 ・益田赤十字病院・浜田医療センターへの訪問、紹介先病院への訪問 3.病床活用カンファレンスでの意見の集約・調整 ・ABC 分析で早めの退院方針を決定 4.14 日ルールの継続	1.急性期病棟として救急入院や整形手術症例の受入強化 2.円滑な他病棟への転棟・退院の促進 3.令和8年度診療報酬改定に伴うDPC退出後の運用検討 病床数 60 床 定床利用率 63.3% 一日平均入院患者数 38.0 人	
7-3 病院 地域包括ケア病棟の安定した運営	①効率的な地域包括ケア病棟の運用	a.効率的な地域包括ケア病棟の運用	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れの支援 ・7-2-①-a-1 と同じ 2.周辺施設、特に日赤との連携推進 ・7-2-①-a-2 と同じ 3.病床活用カンファレンスでの意見の集約・調整 4.60 日→40 日を超える前の在宅への流れる方法の検証。	1.高齢者救急の受入強化（救急・下り搬送） 2.圏域他病院との連携強化（早期受入） 3.平均在院日数の適正化 4.在宅復帰機能の強化と老健施設の活用 5.緩和ケア病床開設後の安定稼働 病床数 60 床 定床利用率 72.5% 一日平均入院患者数 43.5 人	
7-4 病院 特定病棟（回復期リハ・特殊疾患・医療療養病棟）の安定した運営	①効率的な特定病棟の運用	a.各特定病棟の在り方の明確化と運営方針	⇒	⇒	⇒		1.機能を活かした運用と患者数の安定的確保	
	②回復期リハ病棟の効率的な運用	a.回復期リハ病棟に関する情報収集と分析、目指す方向	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れの支援 ・7-2-①-a-1 と同じ 2.周辺施設、特に日赤との連携推進 ・7-2-①-a-2 と同じ 3.病床活用カンファレンスでの意見の集約・調整 4.益田赤十字病院への定期訪問の実施 5 在宅か施設かを見極めての退院支援実施。 ・7-1-②-a-1 と同じ	1.運動器リハ患者の安定的確保 2.脳血管リハ患者の増加 3.地域連携バスによる連携強化（大腿骨近位骨折等の新たな連携） 4.入院受入方法を見直し早期入院が可能な体制を構築 病床数 44 床 定床利用率 94.3% 一日平均入院患者数 41.5 人	

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	③特殊疾患病棟の効率的な運用	a.特殊疾患病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療療養病棟との統合後の慢性期入院体制の整理 ・7-1-②-a-1と同じ	病棟休止	
	④医療療養病棟の効率的な運用	a.医療療養病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れの支援 ・7-2-①-a-1と同じ 2.周辺施設、特に日赤との連携推進 ・7-2-①-a-2と同じ 3.病床活用カンファレンスでの意見の集約・調整 4.益田赤十字病院への定期訪問の実施 5.終の棲家ではなく次のステップへの移動方法の検証・実施	1.病棟再編後の慢性期機能として安定的な入院患者の確保 2.在宅・介護施設等との連携強化（退院のある病棟へ変革を目指す） 病床数 44 床 定床利用率 98.9% 一日平均入院患者数 43.5 人	
	⑦他組織（介護保険サービス）との連携強化による増収	a.退院後の調整強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.回復期病棟は、在宅か施設かを見極めての退院支援実施。 ・7-1-②-a-1と同じ 2.慢性期病棟は、終の棲家ではなく次のステップへの移動方法の検証・実施	1.地域医療介護連携統括部と協働し医療介護連携を推進 2.患者・利用者の流れ（PCFM）の確立 3.在宅患者の機能維持・介護維持への取り組み	
		b.退院調整関係の診療報酬の増収対策の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.協力対象施設入所者入院加算の算定 ・7-1-②-a-1と同じ	1.地域医療介護連携統括部との連携・協働し介護施設との連携を強化	
		c.会員医療機関連携による診療報酬増収の対策の検討	⇒	⇒	⇒		1.地域医療介護連携統括部との連携・協働し、介護施設との連携医療機関として救急対応や感染対策等の連携を実施	
7-5 病院 介護医療院の安定した運営	①効率的な介護医療院の運用	a.介護医療院の在り方の明確化と運営方針	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れの支援 ・7-2-①-a-1と同じ 2.周辺施設、特に日赤との連携推進 3.病床活用カンファレンスでの意見の集約・調整 4.益田赤十字病院への定期訪問の実施 5.終の棲家ではなく次のステップへの移動方法の検証・実施	1.安定的な入所者の確保 2.LIFE へのさらなる対応 3.在宅復帰支援加算取得の検討 4.医療療養病棟の在宅復帰機能強化加算取得に向けた介護医療院活用の検討	
7-6 介護老人保健施設の安定した経営	①入所系サービスの安定経営	a.利用者の安定的確保と増収	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田赤十字病院からの積極的な受け入れの実施 2.医療センター内からの積極的な受け入れの実施 3.松が丘病院、津和野共存病院との情報交換 4.介護医療院ふたばと連携し、利用者の流れの構築 5.ケアマネ交流会（まるみエール）を通して、ケアマネとの信頼関係を深めると共に、地域ニーズの分析や収集を実施 ・まるみエールの支援		1.新規利用者の獲得（目標 120 人/年） 2.定床利用率の維持（96%以上） 3.平均要介護度の維持（3.0） 4.退所後リセット率の向上 5.施設待機入所者のコントロール（人数・要介護度） 6.加算の安定的な算定 ・認知症短期集中リハビリテーション（1,050 件/年） ・栄養マネジメント強化加算の算定継続

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		b.短期入所サービスの適切な運用	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.適正な数の設定に向けて、医療センター内の調整		入所サービスと同様
		②通所リハビリテーションの安定経営	⇒	⇒	⇒			1.利用者数（介護）の確保（33人/日） 2.各種加算の算定 ・認知症短期集中リハ加算（1件/月） ・短期集中リハ加算（20件/月） ・リハビリテーションマネジメント加算(ハ)（40件/月） ・一体型サービス提供加算算定開始
7-7 居宅介護支援事業所の安定した経営	①効率的な経営基盤の確立	a.利用者の安定的確保	⇒	⇒	⇒			1.利用者の維持（47件/月） 2.新規利用者の獲得（1名/月）
		b.業務の効率化	⇒	⇒	⇒			1.事務処理時間を2時間以内に短縮
7-8 訪問看護ステーション等の安定した経営	①効率的な経営基盤の確立	a.病院、施設との連携強化	⇒	⇒	⇒			1.看取り等、カンファレンスの開催 2.まるみエールへの参加
		b.独自のサービスの立案・推進	⇒	⇒	⇒			1.ニーズ調査の実施
		c.収益の確保	⇒	⇒				1.加算の算定 2.利用者確保 潜在的な訪問看護対象者の発掘・確保
7-9 ホームヘルプ事業所の安定した経営	①休止の解除	a.人員の確保	⇒	⇒	⇒			事業再開の検討
7-10 訪問リハビリテーションの安定した経営	②訪問リハビリテーションの利用者確保	a.効率的な運営のための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.くにさき苑入所利用者への広報活動を実施 2.医療センター内の潜在利用者の掘り起こし	
		b.地域のニーズに対応するための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.総合サービスの利用拡大	
	③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.実施件数・実施期間の分析 2.退院・退所から利用までの有効事例による啓発活動を実施	
7-11 地域包括支援センターの安定経営	①事業実施に必要な受託費用の確保	a.益田市との予算協議の継続	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.適正な予算確保に向けた益田市との協議継続 2.人材不足の中、東部と中部に分離した包括支援センターの組織の在り方について協議継続		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	②東部地域包括支援事業の安定運営	a.益田市との連携を図りながらの適切な運営	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市との協力体制の強化 ・新設の総合支援課と高齢者福祉課でケースと運営を分けた協力体制を構築 2.連絡会議 ・市（高齢者福祉課）と包括での定期開催		
		b.地域組織・関係機関との更なる連携の推進	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.地域や関係機関へ体制の周知とネットワーク構築 → LINE WORKS などのビジネス版 SNS の導入検討 2.地域ケア会議の開催 ・一部、益田市社会福祉協議会が主催する第二層協議体との合同開催予定		
		c.地域住民への周知	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市と協力し、体制を周知 2.地域に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施 ・サロン等に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施予定		
	③東部指定介護予防支援事業の安定運営	a.安定運営	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市のマニュアルに沿った、適切な介護予防支援・介護予防マネジメント支援 2.確実な保険請求体制の構築 ・事務職員の安定的確保		
		b.ケアプラン作成の効率化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市の提示するマニュアルに即したケアプラン作成の標準化 2.全体最適を視野とした業務効率化と実績件数の増加 ・人材確保による業務効率のアップ		
		c.関係機関との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.再委託事業所、サービス事業所等関係機関との情報交流や連絡連携体制の維持 ・再委託先との連携強化による人員不足時の業務継続の保証		
	④中部地域包括支援事業の安定運営	a.益田市との連携を図りながらの適切な運営	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.適正な予算確保に向けた益田市との協議を継続 【統括部】 1.益田市との協力体制の強化 ・感染症等での人員体制不足時への対応 ・配置のない専門職の分野：協力姿勢無 2.連絡会議（市と包括での定期開催） ・地域包括推進係との協働、益田市コア会議、ひとまる会議 3.センターの好立地を活かした、益田市各課との連携の強化 ・7-11-②-a-1と同じ		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		b.地域・関係機関との連携構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.地域や関係機関へ体制の周知とネットワーク構築 2.関係機関、地域組織等への訪問実施（健康増進課と連携） ・高齢者虐待への対応や判断能力を欠く状況にある人への支援（高齢者虐待に係る対応、成年後見制度申請など） 3.地域ケア会議の開催 4.地域のイベントへの参加		
		c.地域住民への周知	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.保健所・益田市と協力し、体制の周知を図る 2.地域に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施		
	⑤中部指定介護予防支援事業の安定運営	a.安定運営	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市のマニュアルに沿った、適切な介護予防支援・介護予防マネジメント支援 2.確実な保険請求体制の構築 3.適正な人員確保と個々の能力向上を推進		
		b.ケアプラン作成の効率化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市の提示するマニュアルに即したケアプラン作成の標準化 2.全体最適を視野とした業務効率化と適切な実績件数の増加 3.総合相談との協働		
		c.関係機関との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.再委託事業所、サービス事業所等関係機関との情報交流や連絡連携体制の継続 2.益田市と、適正な委託・再委託件数の模索・共有を図り、各居宅介護支援事業所への周知徹底		
7-12 地域医療事業部の安定経営	①益田市国民健康保険医療施設の安定経営	a.地域医療事業部の設置（美都診療所事業部からの変更）	⇒			【地域医療事業部】 1.既に設置済み		
		b.美都診療所の継続的な運営	⇒	⇒	⇒	【地域医療事業部】 1.地域ニーズに基づく安定した経営の実施 ・毎月管理会を開催し現状を把握 2.指定管理者として益田市と共同で運営を行う。 ・指定管理更新（令和8年度） ・益田市保険課との運営についての定期的な協議の場を設ける予定（年2回） 3.人事グループとの協働による職員の確保 4.新所長の働きやすい環境整備		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						→電子カルテの導入、医療機器の更新 →出張所の運営、訪問診療等の再検討		
		c.匹見道川診療所の継続的な運営		⇒	⇒	【地域医療事業部】 1.地域ニーズに基づく安定した経営 ・4半期ごとに定期訪問を行い現状を把握 2.指定管理者として益田市と共同で運営 ・指定管理更新（令和8年度） ・益田市保険課との運営についての定期的な協議の場を設ける予定（年2回） 3.人事グループとの協働による職員の確保 4.新しい部署としての規程類、運営ルールの策定		
		d.匹見澄川診療所の継続的な運営		⇒	⇒	【地域医療事業部】 1.地域ニーズに基づく安定した経営 ・4半期ごとに定期訪問を行い現状を把握 2.指定管理者として益田市と共同で運営 ・指定管理更新（令和8年度） ・益田市保険課との運営についての定期的な協議の場を設ける予定（年2回） 3.人事グループとの協働による職員の確保 4.新しい部署としての規程類、運営ルールの策定		
8 人材の確保・育成と働きやすい職場づくり			計画年度					
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）		
8-1 計画的な人材の確保と育成	①医師会職員への教育体制の充実	a.研修体制の整備と研修機能の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.全体の教育体制を検証しキャリアプラン形成への制度化及び支援	1.キャリア支援センターの体制強化 2.全体の教育研修・キャリア形成制度の再構築	
		b.新専門医制度への対応	⇒	⇒	⇒		1.指導医資格の取得促進 2.臨床研修基幹病院との連携強化	
		c.研修医受け入れ体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.指導医の確保 2.協力病院として研修医受入れに向けた働きかけ強化	
		d.認定看護師、特定行為のできる看護師等の資格取得の促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.資格取得にかかる費用負担方法等についてのルール化	1.意欲と適性を見極め資格取得推進	
		e.管理職、管理職候補者研修の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各職種にあった管理職研修への参加を促進 2.管理職の教育制度の構築 3.計画的な研修制度の整備及び定期的な研修の実施	1.キャリア支援センターを基盤に体系的な管理職教育の検討	1.事業継続の安定化に資する内部・外部教育の実施
		f.キャリア形成の支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.自己啓発に取り組む環境の醸成のため、経費補助や休暇制度等の導入を検討 2.機能強化・安定運営等に必要研修受講・資格取得の推進	1.キャリア支援センターを基盤にキャリア支援実施	1.職員の能力開発 2.キャリアアップの支援

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		g.職員教育体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.職業人として必要な諸制度（労働基準法、労働安全衛生法、人権、ハラスメント他）についての教育方法について研究・検討 2.職種別の教育方法について検討	1.キャリア支援センターによる教育体制の確立	1.人材定着のための取り組み
	②医師の求人活動	a.医師確保対策に努める	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.病院事業部と連携した勤務医確保の推進 2.新規開業医、開業医の事業承継者の募集活動の積極的展開	1.会員・行政と連携した新たな求人活動の展開 2.島根大学医局への働きかけ強化 3.卒後教育・研修プログラムの検討	
		b.医師招聘につながる処遇の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師の処遇体系の検討継続	1.紹介会社等からの情報収集を基にした魅力ある給与体系等の処遇改善の検討継続	
		c.親父の背中プログラムの継続	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.合同会社ゲネプロとの連携維持 2.親父の背中プログラムの継続とブラッシュアップ	1.ゲネプロと協力し医師募集活動を継続 2.「親父の背中プログラム」のブラッシュアップ	
	③職員の安定確保	a.採用困難職種の採用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.採用促進のための新たな制度の検討と導入 2.人材紹介会社を活用した即戦力の確保 3.既退職者等へのリクルート体制の整備及びコンタクト →看護師・介護士の確保が喫緊の課題であるが、医師、薬剤師、放射線技師の確保も進んでいない。今後も採用活動を最重点に強化	1.各職種管理職と協働した採用活動の強化	
		b.採用活動の徹底	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 ※最優先課題である医療従事者の採用活動を積極的に展開 1.WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信 2.学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を適宜実施 3.採用を進めたい学校等の学生との対話機会の創設 4.中高大での企業参加イベント等に参加し、医療に目を向ける学生を増やす取り組みを継続	1.ホームページ等の採用コンテンツの充実	
		c.給与制度の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.先進的な病院、施設等の給与制度等の研究の継続		
		d.採用方法の検証と改善	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.求める人材像を明確化するため、採用基準・方法等を再検証して、必要な人材を確保		
		e.多様な雇用の推進・検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.定年延長後の安定運営 2.複線型人事制度や新しい働き方に対応した雇用形態の研究検討 3.介護技能実習生増員に伴う安定運営策の検討・実施	1.高齢者雇用、障害者雇用の推進 2.介護技能実習生の増員	

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		f.研修生、実習生の受入れの整備	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.社会福祉士の学生実習の受け入れ体制整備	1.各養成校からの実習生の積極的な受け入れ 2.島根県立大学とのフィールド学習（看護・栄養2年生）や有給型インターンシップ、行政主催のインターンシップ等を活動し当院を知ってもらう活動の推進	1.人材確保のための地域へのアプローチ ・明誠高校との連携カリキュラムの作成 ・インターンシップ導入への取組み ・実習、授業を活用したアプローチ ・日本語教育のプラットフォームづくり 2.技能実習生育成の新たな仕組みづくり ・生活支援の強化
		g.医学生・看護学生への就学支援	⇒	⇒			1.修学資金貸付制度の有効活用 2.内部からの進学者の支援を推進	
		h.職員ロイヤリティの涵養・帰属意識の強化			⇒	【事業本部】 ・職員がお互いに愛着を持ち、精神的なつながりを持ち続けられる施策の検討		
8-2 働きやすい職場環境づくり	①常勤医師の負担軽減	a.常勤医のニーズの把握し問題点の把握や課題を洗い出す	⇒	⇒	⇒		1.医局会の活性化（参加率向上） 2.医師同士が支え合える医局の構築	
		b.課題への対応策検討・実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化	1.勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化	
		c.常勤医の休日・夜間の支援体制の整備	⇒	⇒	⇒		1.大学医局等への宿日直の協力要請の継続 2.モバイルカルテ端末の活用	
		d.タスクシフト・タスクシェアの推進	⇒	⇒	⇒		1.他職種との連携強化 2.医療クラークの有効活用	
	②職員が安心・安全・健全に働ける健康経営の推進	a.ハラスメント対策・体制の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.ハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）防止の組織的な推進 2.ハラスメント行為に対する処分方針の明確化 3.広く職員の声を拾い上げる仕組み（意見聴取方法や体制）についての検討		1.メンタルヘルスに配慮した環境の整備
		b.職員の健康保持・増進活動の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.健康経営宣言に基づいた、職員の健康管理活動（健診結果のフォローや禁煙サポート等）や余暇時間を利用した健康づくり活動（リハ機器の時間外利用・運動教室等）の推進 2.心の健康づくり活動（ストレスチェック、カウンセリング、職場復帰プログラム等）の推進		
		c.福利厚生活動の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.福利厚生制度の検証と再設計		
		d.安心・安全・健全職場環境づくりの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.衛生委員会等の活動を通じた、継続的職場環境の保持・改善 2.双葉会事業等を通じた、部署内外の人間関係構築への支援 3.職員への情報発信力の強化 4.医療センター内のIT化による職員の業務負担の軽減（1-1-③-cと同じ）		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	③女性が活躍できる職場環境づくりの推進	a.仕事と育児・介護の両立を支援する環境の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.育児・介護関連休暇制度が取りやすい職場づくりの推進 2.法令等改正への適正な対応 ・常勤雇用形態の多様化による子育て世代支援 ・介護にかかる支援体制の検討	1.12 時間夜勤体制の検証	
		b.職員保育所の安定運営	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外利用等の改善を活かした、利用しやすい保育所の構築 2.感染対策を強化し職員の意識を高め、安心・安全な保育の実施 3.将来を見据えたより効果的な在り方についての検討実施		
		c.ワークライフバランスの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外・休日労働の削減、有給休暇の取得促進（計画付与）などの徹底 2.職員ニーズの適時把握		
	④多様な働き方に対応できる雇用制度の検討・整備	a.限定正職員（夜勤のできない看護職）、短時間正職員（フルタイムで働けない職員）等の雇用制度を検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.複線型など新たな雇用制度の制度設計の研究		
		b.定年退職の延長、再雇用制度の見直し検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.定年延長実施後の効果等の研究		
	8-3 労働意欲の向上につながる人事、給与制度の検討	a.新人事給与制度の全体的な分析・検証・見直しを実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.より競争力のある人事給与制度の方策の研究		
	②人事異動方針に基づく適正な人事異動の実施と評価	a.人事異動方針に基づく人事異動の適宜実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.定期的人事異動の実施による新たな目標と、働き甲斐を発見できる人事運用実現の検討		
	③人事考課制度の見直し	a.新人事考課制度の検証・見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.新人事考課制度の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップ 2.公正な評価のための考課者教育の実施		
	8-4 島根県立石見高等看護学院の管理・運営	a.適切な情報交換と意見交換の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.定期意見交換会（運営方針、事業計画、課題等）の実施 2.県と連携した、県内の看護師確保対策に向けた取り組み（奨学金等）の実施 3.副学院長、看護教員等の任用について、常に県、益田市医師会との課題を共有した教職員の確保 4.文科省「新たな学習支援制度」への継続した申請及び学生の経済的支援についての県との緊密な連携		
	②魅力ある教育カリキュラムの構築	a.新教育カリキュラムの実践	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学生にわかりやすいシラバスの作成 2.地域と連携した魅力ある基礎看護教育活動について、魅力ある教育プログラムとするための継		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						続的な協議、調整、改善の実施 3.実習施設との連携を密にした、効果的な臨地実習の実践と継続 4.教育カリキュラムに係る予算・経費を確保し、前年度に実施した評価・検証に基いた確実な実行		
	③入学定員の確保	a.看護師国家試験高合格率の維持	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.年度当初に学院目標及び教務部目標を設定、目標達成に向けた学年教育計画を立案 2.看護師国家試験に向けた、計画的な模擬試験などの試験対策を順次実施		
		b.広報活動の展開	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.ホームページの計画的更新等、SNSを活用した情報発信 2.地元益田市と協力した、看護学生と地域の子どものふれあい交流事業の実施 3.益田市・益田市教委員会と共催した、「小学生のための看護体験」の開催 4.学院の広報の一環として、高等学校等からの学校見学・研修希望へ可能な限り対応 5.学院の各種行事についてマスコミに情報提供を行うことにより、広報活動に活用		
		c.学生募集活動の促進	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.夏季休業の期間等を活用した、オープンキャンパス・学院見学会の実施 2.業者等が実施するガイダンスに積極的に参加し、進学相談等に対応 3.県内の高校を訪問することにより、進路指導担当教員へ受験状況等の情報を提供 4.市町村との連携を密にした、地域推薦受験生の確保 5.社会人入学枠の設置など入試改革を実施		
		d.更なる魅力アップの検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.各種評価・アンケートを実施し、本学院の看護教育の検証を自ら実施 2.協同学習ならびにシミュレーション教育発展の推進 3.魅力ある入学試験のあり方についての継続的検討（特に社会人入試や効果的な追加募集を実施）		
		e.4年制大学（養成所の4年制化を含む）の調査・検討	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.情報の収集 2.島根県立大学との連携推進 3.要望活動等への対応		
	④必要な看護教員・講師の確保	a.関係機関との連携協働による看護教員の育成・確保	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.益田地域医療センター医師会病院と連携・協働した、看護教員の育成 2.看護教員確保に向けた、県立中央病院・益田赤十字病院・松ヶ丘病院との人事交流など		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						を検討 3.看護教員適任者の計画的育成についての検討 4.看護教員資格取得支援のための予算を確保		
		b.講師の負担軽減策の検討と実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.講師確保のため、必要に応じて県及び関係機関等と意見交換を実施 2.講師要望等を把握し、調整・再編を実施 3.円滑な遠隔授業実施のための、安定した通信環境・実施体制の継続実施 ×4.カリキュラム改正に伴う講師担当教科目の整理・再編を完成する（R6 完成）		
	⑤看護教員の教授力の向上	a.研修機会の増と、効果的な研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.島根県教員継続研修受講の推進 2.教員指導力向上対策としての研修会を実施 3.各種教員研修への参加支援のための予算確保及び自己研鑽のための研修参加の奨励		
		b.臨床現場研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.専任教員の臨床現場での指導力向上のため、短期臨床研修、長期臨床研修を計画的に実施		
		c.自己研鑽への支援とモチベーションの向上推進	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.キャリア別達成目標の運用・実施 2.自己研鑽支援休暇制度を設け、活用を促進		
		d.学会等への積極的参加	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学会活動の支援 2.教員の教育研究の取り組み促進		
	⑥学院環境の整備	a.学び舎として快適環境の整備	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学生の美化意識の高揚及び美化活動の推進 2.植栽等の適正管理の継続による施設環境の維持 3.危機管理マニュアルに沿った必要な設備整備及び運用 4.感染症等の感染防止対策の継続的実施		
		b.常時点検による適切な整備の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.施設・備品設備のチェックによる、必要予算の要求 2.備品（教育備品を含む）の更新計画を必要に応じて見直し、予算確保を要望		
	⑦地域への貢献	a.卒業生の県内就業率の向上	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.県内病院と学生の交流事業実施による、学生の県内就職支援 2.卒業生のホームカミングデイ事業実施による、卒業・就職後の状況把握及び離職の防止 3.市町村（公立病院含む）との連携による、地域推薦受験生の確保推進（③C4 再掲）		
		b.地域貢献策の検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学生のボランティア活動への参加の促進		

令和7年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						2.感染症等を考慮しながらの、学院イベントへの住民参加促進 3.地域の看護師との合同研修会の企画・運営 4.体育館等、学院施設の地域への貸し出し 5.「地域を知るための看護学習」として正課の学習に組み込んだ「地域・在宅看護論」を通じた、地域の人々との交流促進		
9 計画に基づく必要な施設等の整備充実			計画年度					
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	05	06	07			
9-1 医療センターの新たな施設整備	①医師会施設の計画的整備	a.施設・設備の修繕・整備等計画書作成と実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.将来的医師会施設の在り方・方向性を検討	1.病院建替え基本構想実現に向けたロードマップの策定 2.病院建替えを見据えた修繕・整備の検討・実施	
		b.施設管理システムや体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.省電力のためのデマンド管理の適正化	
	②省エネ、CO2削減対策	a.省エネ新技術の導入促進	⇒	⇒	⇒		1.LED 照明導入検討および部分入替実施	
	③環境の美化	a.総合的な環境美化対策の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.総合的な環境美化への継続的な取り組み	1.自営作業による美化活動の実践	
	④交流の場の整備	a.交流の場の設置の検討	⇒	⇒	×			
9-2 施設設備の老朽化への対応	①昭和 61 年建設病院本館棟の建て替え準備	a.本館棟建替資金の計画的積み立て	⇒	⇒	⇒	1.公益法人法に則り余剰資金の確保や資金の計画的な積み立てを行えるよう経営改善を実現	1.病院建替え構想ロードマップの策定	
	②介護施設整備を実行	a.益田市事業の検討と要望	⇒	⇒	⇒			1.益田市への計画的な施設整備の要望